

## 第2章・現代の経済

32

〈第5節〉  
国民経済と国際経済

# 貿易と国際分業

### 学習のねらい

講師：升野 伸子

外国と取引を行うことを貿易と呼びます。私たちの身の回りには、外国のものがたくさんあります。貿易は私たちの生活に大きな影響を与えているのです。今回は、その「貿易」について学んでいきます。

### point 1 どうして貿易するともうかるの？

私たちの身の回りには、外国から輸入されたものがたくさんあります。どんなものがどの国から輸入されているか、調べてみましょう。



国によって、気候・資源・人口・技術などのさまざまな条件が異なっているため、同じモノであってもその国ごとに価値が異なってきます。貿易では、自国ではありふれているけれど、相手の国では価値のあるものを輸出して、自分の国にないものを輸入するとよいのです。このように、それぞれの国が「作るのが得意なものやたくさんあるもの」を輸出しあい交換する  の利益を説いたのが、イギリス人の  です。

### point 2 自由貿易と保護貿易

自由貿易と保護貿易、それぞれの特徴や、保護貿易をしていた品目を調べてみましょう。

- ・自由貿易：
- ・保護貿易：
- 品目：

それぞれの国が得意なものを生産しあい、輸出や輸入の制限をせずに行う自由貿易は、産業の発達している国にとっては好ましいものでしょう。しかし、まだ産業の発達していない国にとっては、自由貿易によって産業が発展する芽がつぶれてしまいます。このように説いて保護貿易を主張したのがドイツの  です。

### point 3 外国為替と国際収支

遠いところのお金のやり取りを、現金を動かさずに行うことを  とよびます。この言葉の名残で、外国とのお金の送金や交換のことを、外国  とよびます。

また、国と国の間のお金のやり取りのことを、  と

よびます。これは、日本にお金が入ってくれば 、日本から出ていけば  となります。国際収支には国によって特徴があります。

日本の国際収支にはどんな特徴があるのか調べてみましょう。



{

}